

(参考様式5)

平成21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	下野市	江川・五千石	H17～H21	H17

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容：市・農協・県等関係機関から構成される検討委員会により、土地利用調整支援及び、農地流動化の調整・推進を行い、担い手への農地利用集積を促進する。

イ 施策の実績

農地利用集積や集落営農先進地の視察研修を行い農地集積に向けた意識付けを図るとともに、営農部会において、農地流動化の調整・推進を行った。

ウ 施策の効果

圃場整備を契機とし、農地集積に向けた意識付けが図られたとともに、担い手を中心とした営農組合が設立され農地利用集積が促進された。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード (該当なし)

ア 施策の内容：

イ 施策等の実績：

ウ 施策の効果

2 指標の達成状況に関する評価

成果指標 (単位) ※	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%、下2桁) (B/A)
必須 担い手への農地利用集積率等の増加分 (%)	22.5%	31.5%	9.0%	31.7%	9.2%	102.22
地域						

営農部会等において、農地集積に向けた計画的な担い手の育成を検討した結果、農地利用集積率を増加させるという指標を達成することができた。

3 目標の達成状況に関する評価

担い手の育成や農地利用集積について、営農部会等において計画的な担い手の育成や集積目標の達成が図れた。

4 総合評価

営農意向調査等を通じて地区内の農地集積に向けた意識付けが図られ、また、営農部会等における計画的な担い手の農地集積に向けた取組みを行った結果、担い手を中心とした営農組合が設立される等、今後より一層の農地集積及び農業経営の合理化が期待される。

(都道府県の意見)

圃場整備を契機として設立された営農組合に農地の集積が図られた。今後は、営農の合理化を進め、生産性の向上を図り、整備された優良農地で安定した営農活動ができるよう支援していく。